

## 2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月11日

上場会社名 株式会社コプロ・ホールディングス 上場取引所 東 名  
 コード番号 7059 URL <https://www.copro-h.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清川 甲介  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 齋藤 正彦 TEL 052-589-3066  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月11日 配当支払開始予定日 2021年12月9日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	7,402	1.8	632	19.0	630	18.1	328	△18.9
2021年3月期第2四半期	7,271	17.8	531	△20.7	534	△20.0	404	△7.3

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 328百万円 (△18.8%) 2021年3月期第2四半期 404百万円 (△7.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	34.38	33.95
2021年3月期第2四半期	42.92	42.06

(注) 当社は、2021年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	8,439	6,245	73.8
2021年3月期	8,514	6,272	73.7

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 6,225百万円 2021年3月期 6,272百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	20.00	—	55.00	75.00
2022年3月期	—	10.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	30.00	40.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2. 当社は、2021年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2021年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。なお2022年3月期(予想)の配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

### 3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,943	14.2	1,655	15.1	1,657	15.1	1,077	6.7	112.76

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

2. 連結業績予想につきましては、2021年8月11日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 3社 （社名）COPRO VIETNAM CO., LTD.（ベトナム社会主義共和国）、株式会社アトモス、バリューアー  
クコンサルティング株式会社  
（注）詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注  
記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	10,000,000株	2021年3月期	10,000,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	532,426株	2021年3月期	446,334株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	9,550,965株	2021年3月期2Q	9,430,494株

- (注) 当社は、2021年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(会計方針の変更)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が徐々に進むものの、政府による断続的な緊急事態宣言等の発出に伴う景気悪化に加え、繰り返す感染拡大への疲弊感から、先行き不透明な状況が継続いたしました。これを受け、一部の業界では派遣やアルバイト等の非正規雇用者数を抑制する動きが見られました。

当社グループの主要顧客が属する建設業界においても、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化したことで、一時的に非正規雇用者数の調整が生じました。しかしながら、技術者の高齢化及び若手不足は急速かつ不可逆的に進行しており、団塊世代の大量離職をカバーする新規入職者の確保が喫緊の課題となっております。そのため、労働生産性向上等による省人化を前提とした場合も、派遣技術者の利用は継続的に増加すると見込まれます。

このような事業環境のもと、当社グループは、チャージアップ（派遣技術社員一人当たりの契約単価の向上）の交渉を引き続き実施し、段階的な売上原価率の改善を推し進めました。また、新基幹システムの稼働開始及び、自社求人サイト「現キャリ」の全面リニューアルを実施いたしました。更に、営業部門、採用部門及び技術社員のアフターフォローを行うトラスト部門を統合し、営業活動・採用活動・アフターフォローをワンストップで行う体制へ変更いたしました。

加えて、当社グループの成長の礎である付加価値の高いエンジニアを確保するため、建設業界の経験者をメインターゲットとし、有料媒体で積極的に募集するなど、採用強化に取り組んでいます。

また、グループ全体の更なる事業成長と収益の安定性向上を目指し、2021年4月の株式会社アトモスの子会社化に続き、付加価値の高いエンジニアに特化した事業ポートフォリオの構築を目的として同年9月にバリューパークコンサルティング株式会社の発行済全株式を取得し、子会社化いたしました。

海外事業においては、2021年4月に海外事業子会社COPRO VIETNAM CO., LTD. をベトナム社会主義共和国に設立いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、建設・プラント技術者数の増加ペースが一時伸び悩んだものの、2021年6月より機械設計技術者派遣を中心とする株式会社アトモスを連結した結果、売上高が7,402,022千円（前年同期比1.8%増）となりました。利益面につきましては、M&A関連等の一時費用が発生した一方で、チャージアップによる原価率の改善及びその他経費の抑制により、営業利益は632,535千円（同19.0%増）、経常利益は630,983千円（同18.1%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期の特別利益の剥落の影響により328,378千円（同18.9%減）となりました。

なお、当社グループは技術者派遣事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて74,456千円減少し、8,439,888千円となりました。

これは主に、子会社取得に係る支払、自己株式の取得及び配当金の支払等による流動資産の1,314,919千円減少、子会社取得、本社移転及び新規基幹システム開発等に伴う固定資産の1,240,463千円増加によるものであります。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて48,026千円減少し、2,193,916千円となりました。

これは主に、子会社の新規連結等により未払金が186,335千円増加した一方で、未払消費税等が244,290千円減少したことによるものであります。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて26,429千円減少し、6,245,972千円となりました。

これは主に、剰余金の配当262,560千円を実施、自己株式の取得等による119,267千円減少、親会社株主に帰属する四半期純利益を328,378千円計上したことによる利益剰余金の65,817千円増加、従業員に対するストック・オプション発行による新株予約権の20,547千円増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、3,657,868千円となり、前連結会計年度末に比べ1,625,951千円減少いたしました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得た資金は202,584千円（前年同四半期は187,212千円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益582,052千円、法人税等の支払額178,656千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1,365,925千円（同13,971千円の収入）となりました。これは主に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出937,327千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は462,865千円（同281,471千円の支出）となりました。これは主に自己株式の取得による支出119,287千円及び配当金の支払額262,172千円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年8月11日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,320,538	3,694,974
売掛金	1,880,186	2,069,818
電子記録債権	—	30,278
その他	207,297	298,740
貸倒引当金	△435	△1,144
流動資産合計	7,407,586	6,092,666
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	272,809	412,730
建設仮勘定	28,270	—
その他（純額）	56,235	115,977
有形固定資産合計	357,315	528,707
無形固定資産		
のれん	—	885,344
リース資産	7,776	368
その他	152,933	184,273
無形固定資産合計	160,709	1,069,985
投資その他の資産		
繰延税金資産	117,660	153,217
その他	471,072	595,311
投資その他の資産合計	588,733	748,528
固定資産合計	1,106,757	2,347,221
資産合計	8,514,344	8,439,888
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内償還予定の社債	70,000	—
リース債務	14,560	5,230
未払金	1,130,440	1,316,775
未払法人税等	158,746	236,992
未払消費税等	449,936	205,646
賞与引当金	52,661	73,799
資産除去債務	28,169	7,844
その他	258,476	220,517
流動負債合計	2,162,989	2,066,806
固定負債		
リース債務	4,464	2,713
退職給付に係る負債	—	21,747
資産除去債務	74,487	102,649
固定負債合計	78,952	127,109
負債合計	2,241,942	2,193,916

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	1,230,530	1,236,748
利益剰余金	5,012,823	5,078,640
自己株式	△1,279	△120,547
株主資本合計	6,272,073	6,224,841
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	328	583
その他の包括利益累計額合計	328	583
新株予約権	—	20,547
純資産合計	6,272,402	6,245,972
負債純資産合計	8,514,344	8,439,888

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	7,271,258	7,402,022
売上原価	5,255,775	5,168,273
売上総利益	2,015,482	2,233,748
販売費及び一般管理費	1,483,725	1,601,213
営業利益	531,757	632,535
営業外収益		
受取利息	22	28
受取賃貸料	570	570
受取和解金	3,762	—
その他	55	326
営業外収益合計	4,411	925
営業外費用		
支払利息	483	270
為替差損	—	1,555
支払保証料	547	166
減価償却費	375	375
その他	433	108
営業外費用合計	1,838	2,476
経常利益	534,329	630,983
特別利益		
固定資産売却益	—	1,521
保険解約返戻金	90,676	—
特別利益合計	90,676	1,521
特別損失		
減損損失	—	50,434
固定資産除却損	4,394	0
その他	—	17
特別損失合計	4,394	50,452
税金等調整前四半期純利益	620,611	582,052
法人税、住民税及び事業税	157,660	241,157
法人税等調整額	58,224	12,517
法人税等合計	215,885	253,674
四半期純利益	404,725	328,378
親会社株主に帰属する四半期純利益	404,725	328,378



（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）
四半期純利益	404,725	328,378
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	208	255
その他の包括利益合計	208	255
四半期包括利益	404,933	328,633
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	404,933	328,633

## （3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	620,611	582,052
減価償却費	45,158	61,065
減損損失	—	50,434
のれん償却額	—	9,334
保険解約返戻金	△90,676	—
株式報酬費用	—	20,547
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1	13
賞与引当金の増減額（△は減少）	△65,101	5,255
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	—	875
受取利息	△22	△28
支払利息	483	270
固定資産売却益	—	△1,521
固定資産除却損	4,394	0
売上債権の増減額（△は増加）	665	△6,553
その他の流動資産の増減額（△は増加）	21,241	△64,899
未払金の増減額（△は減少）	76,181	65,470
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△89,206	△342,333
その他	△371	1,498
小計	523,358	381,483
利息及び配当金の受取額	22	28
利息の支払額	△482	△271
法人税等の支払額	△335,685	△178,656
営業活動によるキャッシュ・フロー	187,212	202,584
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△119,233	△222,006
無形固定資産の取得による支出	△39,193	△68,872
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△937,327
その他	172,398	△137,718
投資活動によるキャッシュ・フロー	13,971	△1,365,925
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	—	△3,999
リース債務の返済による支出	△13,629	△10,510
社債の償還による支出	△80,000	△70,000
自己株式の取得による支出	△208	△119,287
ストックオプションの行使による収入	755	3,105
配当金の支払額	△188,388	△262,172
財務活動によるキャッシュ・フロー	△281,471	△462,865
現金及び現金同等物に係る換算差額	208	255
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△80,078	△1,625,951
現金及び現金同等物の期首残高	4,795,089	5,283,819
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,715,011	3,657,868

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2021年9月14日開催の取締役会において、2021年9月15日から2021年12月30日にかけて、取得する株式の総数300,000株、取得総額350,000千円を上限に自己株式を取得することを決議し、当第2四半期連結累計期間において、93,100株を119,287千円で取得しております。

また、ストック・オプションの行使による自己株式の処分13千円及び取締役に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分6千円に伴い、当第2四半期連結累計期間において自己株式が19千円減少しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が119,267千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が120,547千円となっております。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

第1四半期連結会計期間において、2021年4月1日付で当社子会社であるCOPRO GLOBALS PTE. LTD. がベトナム社会主義共和国にCOPRO VIETNAM CO., LTD. を設立いたしました。また、当社は2021年4月30日付で株式会社アトモスの全株式を取得し子会社化いたしました。当該2社は当社の特定子会社に該当しております。なお、COPRO VIETNAM CO., LTD. の決算日は12月末日、株式会社アトモスの決算日は2月末日であり、それぞれ当社グループの連結決算日と異なるため、第1四半期連結累計期間においては貸借対照表のみを連結の範囲に含めておりましたが、当第2四半期連結累計期間より損益計算書についても連結の範囲に含めております。

当第2四半期連結会計期間において、当社は2021年9月30日付でバリューアークコンサルティング株式会社の全株式を取得し子会社化いたしました。同社は特定子会社に該当しており、また同社の決算日は5月末日であります。企業結合日が2021年9月30日であるため当第2四半期連結会計期間は貸借対照表のみを連結しております。

（会計方針の変更）

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しておりますが、従前の収益認識方法からの変更はなく、当会計基準の適用による当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。